

## 令和元年度下関市立病院新改革プラン評価委員会議事【概要】

令和元年 8 月 5 日（月） 13 時 50 分～14 時 45 分

下関市立唐戸保健センター 多目的ルーム

下関市立病院新改革プラン評価委員会

：上野委員長、伊藤(修二)委員、杉浦委員、梶山委員、伊藤(ひろ子)委員

下関市保健部

：九十九部長、徳王丸部次長

（豊田中央病院事務局）倉本事務局長ほか 1 名

（地 域 医 療 課）八角課長ほか 2 名

### 1. 開 会

### 2. 下関市保健部長あいさつ

### 3. 議 事

（1）下関市立病院新改革プラン点検・評価書（案）について

- ・下関市立病院新改革プラン点検・評価書（案）  
《地域医療課より、概要説明》

（2）豊田中央病院の実施状況について

- ・豊田中央病院 実施状況  
《豊田中央病院事務局より、概要説明》

＝質疑応答・意見等＝

#### 安心・安全な医療サービスについて

評価委員 地域住民との意見交換会を開くなど、ネットワークの構築に努力されているのは評価できる。地域住民の要望で重要なものは何か。

豊田中央病院 病院に対する信頼と病院の周知が重要と考える。病院の周知は、ホームページの充実や広報誌の配布に加えて、豊田町で意見交換会「語ろう会」を3月に実施しており、意見交

換会に参加して直接話を聞いた人から口コミで広がること  
が重要と考える。

地域住民から、診療科と交通の便について要望がある。

診療科については、市内の他の病院でも皮膚科、外科や整形外科の常勤医師が少ない。当院は総合診療医の確保に力を入れており、外科、骨折や裂傷の縫合について、総合診療医が対応している。

評価委員

病院の広報誌「ホテル通信」は、読みやすく内容も良いので、広く住民に読んでもらうために、全戸配布することを検討すべきである。回覧では他の資料と混在するのでなかなか見えてくれない。

豊田中央病院  
評価委員

回覧方法については豊田総合支所に相談する。

院内での栄養指導や薬剤指導の件数が増加しており、努力の跡がうかがえる。その他の指導管理料や加算の検討に努められたい。

豊田中央病院

昨年から、医療安全管理室を設置し専任の担当者を配置することで医療安全対策加算や市民病院と連携して医療安全対策地域連携加算を取得している。そのほか患者サポート体制充実加算、認知症ケア加算等の取得に取り組んでいる。

また、院内に診療報酬ワーキンググループを立上げ、新しい加算の取得等について検討している。

評価委員

リハビリテーション施設の改修と人員の拡充を実施されたのは評価できる。

#### 医師の確保について

評価委員

医師が確保できないことにより、目標達成に至らなかった項目もあるため、医師の確保に努めてほしい。

評価委員

医師の人材確保は困難な問題である。そのような中、総合診療専門医研修協力施設となったことは評価できる。

#### 地域包括ケア病床について

評価委員

地域包括ケア病床を活用して、急性期病院から地域に戻るまでの療養のための転院の受入れの流れを強化することで、病床利用率の改善が期待できる。

#### 豊田中央病院について

- 評価委員            以前に比べてスタッフの対応や病院の雰囲気良くなった。職員が自信を持って働いているように見える。
- 評価委員            身近な病院として、これからも引き続き住民から親しまれ、信頼される病院として頑張ってもらいたい。

#### (3) その他

- ・今後の流れについて  
《事務局より説明》

## 4. 閉 会

了